

解釈理論を学び、事例解釈を通して、心理臨床の実践に役立てたい方へ

関西ロールシャッハ研究会 第32回中級講座

2016年度

- ☆ 講座内容 形式構造解析(阪大法)に基づくロールシャッハ解釈理論と事例解釈
- ☆ 受講対象 臨床心理士・精神科医・医療・教育・福祉などの心理臨床に携わり、守秘義務の課せられている方およびロールシャッハ法の習得を希望される大学院生・学部生の方で、当会基礎講座を受講もしくは片口法・クロッパー法・名大法・包括システム等のスコアリングを既に習得し、ロールシャッハ法の解釈を深めたい方
- ☆ 講 師 相澤直樹(神戸大学) 小笠原将之・川口裕子(大阪大学) 高橋裕子(大阪樟蔭女子大学)
竹内直子(大阪府立精神医療センター) 橋本朋広(大阪府立大学)
福永知子(関西ロールシャッハ研究会) 前田志壽代(元神戸学院大学)
- ☆ 会 期 2016年9月11日(日)より2017年3月6日(日)まで
- ☆ 会 場 大阪大学中之島センター 4F 講義室404 (定員30名)
<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/> 〒530-0005大阪市北区中之島4-3-53
- ☆ スケジュール 各回 午後2時より午後5時まで(3:15-3:30休憩 4:45-5:00質疑)

No.	月	日	曜	講 義 内 容
1	9	11	(日)	形式構造解析と精神・心理臨床
2	9	25	(日)	個と世界1(初期集約的把握型)
3	10	2	(日)	個と世界2(初期集約的把握型以前)
4	10	16	(日)	個と世界3(初期集約的把握型以後)
5	10	30	(日)	原体験論
6	11	13	(日)	体験のドラマ1(形体反応と色彩反応)
7	12	4	(日)	体験のドラマ2(形体と色彩との複合)
8	12	18	(日)	体験のドラマ3(運動反応1)
9	1	22	(日)	体験のドラマ4(運動反応2)
10	2	5	(日)	形体水準
11	2	26	(日)	統合的解釈と実際例(予後予測)
12	3	5	(日)	統合的解釈と実際例(治療との関係)

諸般の事情により、内容等が変更になる場合がありますので、ご承知おきください。

- ☆ 受講料 ¥43,000(大学院生・学部生)¥40,000
- ☆ 申込締切 2016年9月5日
申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい(郵便・FAX・メール、何れでも結構です)。
受付後、1週間以内に、講義内容と担当講師・会場地図・振込用紙などを郵送します
※〒565-0871 吹田市山田丘2-2 D3 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室内
関西ロールシャッハ研究会
- ※FAX 06-6877-7430
- ※メール fukunaga@psy.med.osaka-u.ac.jp
- ☆ テキスト 辻悟『ロールシャッハ検査法—形式・構造解析に基づく解釈の理論と実際』金子書房
定価¥6,500+税 ⇒割引価格¥5,600(税込)
中級講座を修了した方は、解釈レポートを提出し、さらに発展的な学びを深められる事例検討会(自由クラス)に参加しましょう。
- ☆ 本中級講座案内は、先にお知らせしました第32回ロールシャッハ講座のBコースです。
受講者50%以上が臨床心理士の場合、臨床心理士資格認定協会に継続型研修会の申請をします。
9回(70%)以上、出席の方に終了証をお渡しします。

2016年7月

関西ロールシャッハ研究会

福永知子(運営世話役)TEL 06-6879-3056(木曜日のみ)